

令和7年中の交通死亡事故発生状況

令和8年1月6日
交通部交通企画課

令和7年中の交通事故死者数59人 (+13人)

区分	令和7年	令和6年	増減数	増減率
死亡事故	54件	45件	+9件	+20.0%
死者数	59人	46人	+13人	+28.3%

《交通死亡事故の特徴》

高齢死者が約6割を占める

- 高齢者の死者数は34人で構成率57.6%（前年25人、構成率54.3%）
〈内訳〉
自動車乗車中16人、二輪乗車中3人、自転車乗用中3人、歩行中12人

車両単独事故が約4割を占める

- 車両単独事故は19件で構成率35.2%（前年14件、構成率31.1%）
〈内訳〉
工作物等衝突12件、路外逸脱3件、その他4件

飲酒運転事故の根絶に至っていない

- 原付以上第1当事者の事故54件中、飲酒運転は3件で構成率5.6%
(前年44件中6件、構成率13.6%)

自動車乗車中死者のうち、シートベルト非着用が約5割を占める

- 自動車乗車中の死者34人中、シートベルト非着用者は16人で構成率47.1%
(前年23人中12人、構成率52.2%)

歩行中死者が約3割を占める

- 歩行中死者は16人で構成率27.1%（前年46人中15人、構成率32.6%）
〈内訳〉
横断歩道横断中0人、横断歩道以外横断中8人、路上横臥2人、その他6人

【過去10年の交通事故死者数】

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
死者数	100	86	87	75	73	62	60	66	46	59
ワースト順位	9	9	3	7	4	6	7	2	24	8

※ ワースト順位は、人口10万人当たりの死者数の全国順位